





※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社シンセイ )

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、福利厚生等の雇用条件で差別しない体制を構築して、経営層が積極的に関与している(研修・講習会の実施、相談窓口の設置)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7				
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・就業規則、ハラスメント規程(2023年10月新規制定)にハラスメントや人格侵害行為の禁止を明記し、相談窓口を設けている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法等の改正内容等を経営層を含め共有し、所定外労働時間の管理は分単位で行っている ・NO残業デーの実施(毎週水、金曜日) ・「働き方改革宣言」(2017年1月制定、2022年4月更新)								8.5 8.8												
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		・外国人労働者の採用実績なし				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3										
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全衛生委員会を設置し、安全衛生年間計画書の作成並びに2008年度より安全/ハローを隔月で実施			3						8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・相談窓口の設置をしている ・【予定】健康診断時にストレスチェックを実施			3																	
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・定年後の継続雇用制度を実施中(定年時の雇用条件を維持) ・特別支援学校早期訓練の受入れ実施					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3											
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割に応じて技能講習や安全教育を実施(外部の教育機関、他) ・個人の力量を定期的に確認し、OJTを行っている				4	5.5			8	9											
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・同一労働同一賃金は実施をしている ・労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った給与規定の見直し(2023年10月)を実施					5.5			8.5	10.2 10.3											
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・全国健康保険協会に「健康づくりチャレンジ宣言」のエントリーをする			3					8												
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の種類、量などの現状を把握し、台帳を整備して見える管理を行っている ・削減のための計画を策定している(2022年~2024年)										11.6	12.4		14.1							
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・自社のエネルギー使用量やCO2排出量を把握し、省エネ計画を策定して推進している(2022年~2024年)							7.3					13								
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・算定ツールを利用してCO2排出量を把握し、削減計画を策定している(2022年~2024年)							7.2 7.3				12.4	13.3								
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・有害化学物質はPRTR法に基づいて管理をしている ・現在は使用していない			3.9			6.3					11.6	12.4								

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・生物多様性に配慮したエコラベル商品の購入や、グリーン調達を推進している						6.6							15				
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・リデュース：加工時の原材料ロスが少ない金型設計をする ・リユース：納品に通箱を使用、コピー用紙の裏紙利用 ・リサイクル：資源ごみを正しく分別する、リサイクル製品を積極的に利用する							12.5			14.1							
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・利用状況を把握し、水の循環装置を設置している						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・ISO14001の認証を取得している(1998年度)			3.9			6	7			12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・「環境保護活動に関するお願い」を会社の受付に掲示、及び取引先関係者に配布している										12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・CO2フリー電気の購入(2021年7月から) ・【予定】新工場建設時に、既存の工場の使用電力量も含めて、太陽光パネルの設置をする						7.2						13					
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・非合法原材料を使用していないことの確認を行っている ・エコラベル商品を利用している										12.2	13	14	15				
公正な事業慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則に明記し、社員に周知徹底を行っている														16 16.5		
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則に明記し、社員に周知徹底を行っている														16		
	24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・特許、商標等の知的財産権を取得・管理を行っている								8.2 8.3	9							
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・就業規則、機密保持に関する誓約書に明記し、社員に周知徹底を行っている														16		
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・自社製品の原材料サプライチェーン(仕入れから出荷まで)を把握している														16		
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・取引基本契約書に明記し、認識を共有して状況の確認を行っている					5			8	10	12	13	14	15	16	17	
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	・パートナーシップ構築宣言の登録(2025年度)を目標して策定中			3					8	9	10					17		



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【水に関連する生態系の保護】 ・山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う		・人手の足りない社員の持山の間伐、整備を行っている ・会社敷地に隣接する奈良井川支流の土手の植栽、草刈り等の整備を行っている						6.6									15.2 15.4		
【適切な雇用創出】 ・働きがいのある仕事、職場づくりを行う		・【予定】新工場を建設する								8									

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
  - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
  - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定